

2023年
10月号No.13

サルビア訪問リハビリ新聞

発行日：令和5年10月15日 発行者：医療法人社団英世会 介護老人保健施設サルビア
〒191-0024 東京都日野市万願寺1-18-1 TEL042-589-3270 FAX042-589-3271



国際福祉機器展

国際福祉機器展について

国際福祉機器展とは、ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用した介護ロボット・福祉車両まで世界の福祉機器を一堂に集めたアジア最大規模の国際展示会です。多彩なセミナーやイベントなどで最新の関連情報を発信する場ともなっています。また今年度の開催で五十周年を迎えたとの事です。

新型コロナウイルスの関係で実施していない年もあり、私自身も久しぶりに福祉機器展に行きましたので簡単に報告させていただきます。



様々な長さの
ベストポジションバー



座る場所がある
段昇降手摺り

実際の展示物はというと車椅子、歩行器、杖、浴室やトイレの住宅改修、ベッド等様々な種類の物が展示されていきました。今までの内容と比べると、より質の高い物、実用的な物と変化しているように感じました。また自動で寝ている状況から座った状態になれる介護用ベッドの体験もしてきました。

もしご自宅で困っている事や行いたい事があった場合、福祉用具や住宅改修をする事で動作が行えるようになる場合がありますので、担当職員まで相談してみてください。

訪問リハ新聞編集部 佃 文王

皆さんの声 八十年代男性

私は三十四歳の時に航空機の免許を取得し五十八歳まで楽しく過ごして参りました。その事について私の体験談を述べさせていただきます。

私は鹿児島市和田町で生まれ育ち十八歳まで桜島を見て過ごしました。小学校一年生の時、大東亜戦争がはじまり大変な時代になり多くの方々が大変な苦勞をされました。

私が小学校二年生の正月の時に上空に米軍の飛行機が偵察で飛来しました。下から高射砲で迎え撃ったが届かず途中で破裂するのが見えました。その後のある日、米軍のグラマンと日本の零戦が一对一で空中戦をやり、防空壕から恐る恐る眺めています。どちらかの飛行機かは判明しませんでしたが撃ち落とされて海に落ちていきました。現代風に言うと航空ショーを見ている感じでした。

その後米軍機の戦闘機P38が飛来し、爆弾を落とす日が多くなりました。その頃は日本と米軍の飛行機のエンジン音が判別できるようになっていました。米軍の攻撃もだんだん多くなり、日本の戦車の音に悩まされました。また近くの山に高射砲の基地を作り始めました。試射をする間もなく終戦になり機関砲は直ぐに処理され機関砲台は暫く残されました。砲台だけは残り回転するので、子供達の遊び場として暫く楽しんでおり私もよく遊びました。

私が飛行機に興味を持ったのは恐る恐る眺めた空中戦だろうと思います。当時定期便も一般の人はなかなか簡単に乗れる時代ではありませんでしたが、其のころ丁度小倉空港に日本飛行連盟が開設され入会する事ができました。飛行機の標準語は世界中が英語で

無線資格試験にはとても受かりそうにありませんでしたが、幸い日本人向けの通信士の資格制度が通産省で制度化され合格できました。また小倉空港の近くに住んでいたので毎日モニターを聞くことができました。そのお陰で航空操縦士試験の終わりに会話が上手かったと褒められ嬉しかった記憶があります。

その後は単独飛行も認められ、小倉、下関を親子三人でよく飛び廻り、息子の同級生や会社の後輩や親族を乗せて楽しめました。五十八歳まで散々飛行し楽しみ有難い人生を過ごせて、感謝しております。

訪問リハビリ職員より

今回、航空機免許をお持ちと伺い、ぜひともお話をとお願ひさせていただきます。とても貴重な体験をお話していただき、ありがとうございます。

訪問リハ新聞編集部 竹沢 美香

編集部員のつぶやき

時々この新聞を通して長男の話をしている。長男と表現にしたのは、八月に次男が生まれたからである。次男が生まれた事で、長男が揺り籠を揺らしたり、昔使っていた赤ちゃん用のおもちゃを譲ったりと兄の一面を見せている。ただ妻が次男に母乳をあげる事を嫌がったり、急に癩癩を起したりと赤ちゃん返りする様子も見せる。

子供では幼稚園や小学校中学校と環境の変化が目まぐるしい。ただ私自身に対しても次男が生まれた事や子供が成長する事での環境の変化がある。そう、誰しもが多かれ少なかれ環境の変化は発生する。良い方向にも悪い方向にもである。可能であれば自分の気持ちが良い状況に変化させていきたいものである。

訪問リハ新聞編集部

佃 文王

